

令和4年度 第1回宇和島市地域公共交通活性化協議会

議 事 要 旨

日時 令和4年6月27日（月） 14時00分～15時00分

場所 宇和島市役所 A棟会議室

出席（委員） 玉田委員、宮本委員、浅野委員、渡部委員、森藤委員、本田委員、
田中委員、稲荷委員、高瀬委員、二宮委員、一色委員、武智委員、
渡邊委員、弓削委員、窪委員代理人、山口委員代理人（順不同、敬称略）

（ワガバーバー）愛媛県南予地方局地域産業振興部地域政策課 須山課長

（事務局）宇和島市企画課：木原、渡邊、川井、古田

事業者：KEL（九島エンジョイライフ）※議案3関係者

1 開会

2 開会あいさつ

3 議事

（1）協議事項

①令和5年 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について

（地域公共交通確保維持改善事業費補助金）

- ・事務局より令和5年度分（令和4年10月1日～令和2年9月30日）の計画について説明。
- ・質疑応答

（委員） 三間地区の利用人数の目標について、1循環あたり2名を目標としてこれが達成できなければ、路線の見直しなどをしなければならないという説明があったと思うが、現状の数字では厳しい部分があるように思う。たとえば、来年度に路線の見直しなどをしなければならない状況になるのか。

（事務局） 三間地区については、令和2年9月に再編され運行している。路線の見直しという点については、再編から1年半が経過したため、地元の方の意見を聞きながら、より利用しやすい路線を検討していく必要があると考えている。

（委員） 三間地区の利用人数の目標設定理由に、国庫補助要件である1循環あたり2名の利用を目標とするとあるが、これが達成されないと国庫補助が受けられない可能性があるということになるのか。

(事務局) その可能性はあるため、より利用しやすい路線となるよう見直しを検討していきたいと考えている。

- ・質疑応答後、拍手による採決を行い、承認。

②宇和島市地域公共交通網形成計画に係る事業報告について

- ・事務局より各事業の実施状況について説明。
- ・質疑応答

(委員) 2019年に計画が作成され、2024年までの5年間をかけて事業の実施に取り組まれていることと思うが、議案2の資料p.19「公共交通機関の役割分担と連絡調整に関する場の創設」について、鉄道と路線バスのダイヤが事業者間連携や内部調整の場がないとあり、現状は実施内容検討中となっている。計画期間終了まで残り2年間という中で、今後公共交通機関同士の連携や調整をどのようにしていくのかお聞かせ願いたい。

(事務局) 宇和島市地域公共交通網形成計画に基づき実施を検討していたが、コロナの影響により、実施できていなかった面もある。しかし、路線バス、JR、コミュニティバスにおいて、延伸やダイヤ改正があった際は、その都度電話連絡などで情報連携を図り、時間調整を行ってきたところである。今年度は、コロナも落ち着いてきたため、実施に向けて検討していきたいと考えている。

- ・質疑応答後、拍手による採決を行い、承認。

③生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）の策定について
(地域公共交通確保維持改善事業費補助金)

- ・事務局より事業計画について説明後、KEL（九島エンジョイライフ）による内容補足。
- ・KEL（九島エンジョイライフ）退出後、質疑応答
質問・意見なし
- ・質疑応答後、拍手による採決を行い、承認。

(2) その他

- ・質疑応答、その他
質問・意見なし